

たくましく 心豊かな 地球市民 	瞳かがやく 附属松本中の子ら <h1>すすかけの森</h1>	令和5年7月21日(金) 信州大学教育学部 附属松本中学校 学校だより No. 3 
---	-----------------------------------	--

各学年の宿泊行事も無事に終わり、級友との仲を深め、一段と成長した姿で前期前半の終了を迎えることができました。暑い毎日が続きますが、授業では先生や友と語り合いながらじっくりと取り組む姿が見られたり、休み時間には中庭にある菊の世話を熱心にする姿や生徒会の当番活動に責任をもって取り組む姿が見られたりし、落ち着いた毎日を送ることができています。明日からは夏休み。前期後半に向けて、エネルギーを蓄える機会にしましょう。



経験を次に活かしていこうとする確かな営み ～ 中島 健 副校長先生のお話より ～

明後日の日曜日は一年間で一番暑い時季に当たる「大暑」です。夏真っ盛りですね。連日、大変な暑さが続いています。皆さんが夏休み前の最終日となる本日を無事に迎えることができ、大変嬉しいです。

先々週、1、2年生の皆さんは各学年の宿泊行事を終えましたね。各クラスや各学年でのまとめが進んでいると思います。1年生は志賀高原や小布施で、2年生は飛騨高山で、それぞれ1泊2日を過ごしましたが、そのなかで、皆さんはどんなことを感じ、また今、準備から当日までを振り返り、どんなことを考えていますか。3年生はしばらく前のこととなりますが、4月に奈良及び京都への修学旅行を終えました。あの2泊3日で感じたことや考えたことは、今の学校生活にどのようなつながっているのでしょうか。

行事を振り返った皆さんの記述には、共通していることがあると思います。それぞれに2日間で印象深く感じたことや、これを学んだぞと強く思うことを綴っていますが、それらがこの2日間だけで終わるのではなく、何らかの形で今に、更にはこれからにつながっていく、ということです。1、2年生にとっては、来年度、そして再来年の宿泊学習や修学旅行が予定されているので当たり前のこと、と思えなくもありませんが、これら次の行事へ活かしていこうとすることはもちろん、日々の学校生活や自らの日常生活にどのようなつながりか、と考えていることが強いように感じます。

宿泊行事の中で、あるいはその準備期間の中で、こんなことができたのだから、こんなふうにとやったらできたのだから、日々の学習や生活の中でも、それらを活かしていきたい。あるいは、残念ながらこんなことができなかった、こんなふうにしてみたけれど実現できなかった、だから毎日の生活の中であらためてこのように取り組んでいきたい。

もちろん、これらは宿泊学習や修学旅行だけに当てはまるわけではなく、4月から今までに積み上げてきた、それこそ皆さんの行事や出来事に当てはまると思います。附属松本中学校の皆さんの中には、そんな、「経験したことを次に活かしていこうとする確かな営み」があるからこそ、「このような行事を通して、また一回り大きく成長しました」ということが、よく語られるのだと思います。

さて、4月6日の始業式で、私はこんな言葉を皆さんに伝えました。

自分や自分たちに、何ができるのか考えたい

自分や自分たちが、どうやったらできるのか考えたい でした。

皆さんは、日々の生活のなかで、どんな「できる」を考えましたでしょうか。

そして、「どのように どうやったらできるか」を考えましたでしょうか。

また、「どんなときに、友や仲間が、それらを考えている姿に出会った」でしょうか。

学校生活での些細な出来事ですが、私が印象に残っていることを2つ紹介したいと思います。

毎日のお昼の時間に、皆さんは牛乳を飲んでますよね。そして、当番の人でしょうか、係の人でしょうか、飲み終わった牛乳瓶は、1階の事務室前にある大型冷蔵庫の横に、毎日きちんと片付けられます。そこにはいつも委員会での当番活動をしている委員の皆さんがいます。今年度、ほとんど毎週のように、大型冷蔵庫に張り付けてある小さなホワイトボードには、全てのクラスの欄に○印がついています。それが当たり前になってきていますね。ある日のことです。この週も、毎日○印が並んでいます。私が通りすがりに当番活動の様子を見ていたら、委員の間でこんなやりとりがありました。

その日は3人での当番活動のようです。ある先輩が2人の下級生に「授業遅れそうならもう行っていよいよ。あと2クラスぐらいなら自分ができるから」とさりげなく投げかけました。すると2人の下級生はお互いに「大丈夫だよね」「うん、大丈夫」と顔を合わせ、頷きあっていました。

その様子を見ていた先輩は、それ以上特に何も言いませんでした。それまでの活動の積み重ねがあるからでしょうか、互いの気持ちを察し、それ以上のやりとりは必要ない、という感じでした。そして、3人は、最後のクラスが牛乳瓶のケースをもってきたのを見とどけ、整頓をし、○印をつけて、いつものように5時間目に向かっていきました。委員会活動としての日常の姿だったのだと思います。やりとりとしてはこれだけだったのですが、私は何とも言えない心地よさを感じました。この先輩は、どうしてこのような優しい言葉を下級生にかけることができたのでしょうか。この先輩の姿から、2人の下級生は何を感じ、何を引き継いでいってくれるのでしょうか。

次にもう一つの出来事です。

朝の登校時、私は8時少し前からしばらくの時間、昇降口に立っていることがあります。何日間か連続して昇降口に立って挨拶をしていたら、私が「おはようございます」と声をかける前に、生徒の皆さんから挨拶をしてくれる人が増えてきました。私の挨拶に対して、顔をこちらに向けて目を合わせてくれたり、タイミングよく会釈をしてくれたり、また少し小さめの声ではあっても、しっかり聞こえるように挨拶をしてくれたり、といったいろいろな姿があります。誤解のないようにお話ししますが、私は、決して全員の皆さんが元気いっぱいニコニコしながら大きな声で挨拶をしてくれる、そのことだけを求めているわけではありません。朝、いろんな状況やいろんなその日の気持ちで登校してきているだろう皆さんです。元気で朝の挨拶をする気分ではない、という時やそんな気持ちの人もいるでしょう。それが当然だと思います。そんな中、私が挨拶をしたことについて、何らかの形でそれに反応してくれたことに嬉しさを感じます。私からすれば、私はその人に無視されてはいないんだ、私とその人の視野に入り、私に対して相手は反応してくれているんだ、という嬉しさがあるのです。そんなことを考えていたら、学年通信や学級通信の中から、こんな振り返りを見つけました。

- 朝にあいさつ当番がありました。いつもより早く起きて学校へ行きました。学校に来た人にあいさつをするのがすごく気持ちよかったです。あいさつを返してくれた人が多くて嬉しかったです。少し声が小さいと思ったので、次回はもっと大きな声であいさつしたいです。
- 今日は、委員会の当番活動がありました。私は校風委員会で、朝、あいさつをします。正直「当番って大変そうだな」と思っていたのですが、やってみると、同じクラスの友達や同じ委員会の先輩が通りかかった時に声をかけてくれたし、他の人も元気にあいさつしてくれて、「楽しいじゃん!」と思いました。朝、学校の前で立ってあいさつをするのは大変と言えば大変ですが、それ以上の楽しさや達成感がある仕事だと思います。

私の一方的な思い込みかもしれませんが、こうやって、附属松本中学校の皆さんは、誰もが何らかの形でつながり合っている。そして、そのつながりの中で、できることを増やしていつている、そういうことができる仲間なのではないか、と感じています。

今紹介した2つの出来事のように、みなさんがつながり合って、どんなことができるようになってきたのだろう、と考えてみると、さらに通信の中からこんな振り返りも見つけました。こんなことができそう、こんなことができた。こうやったらできそう、こんなふうにしたらできた、が紹介されています。いつも、読ませてもらうのが楽しみです。時には、できそうでできなかったものもあるようですが、その過程を大切に上げてくれていて嬉しいです。幾つか紹介したいと思います。

- 今日は総合がありました。みんなで意見を出し合って、話し合えてよかったです。個人的には、「〇〇をPR」というのがやっぱりいいなと思いました。いろんな意見をもっている人がいて、やっぱり自分だけにとどめておかず、どんどん発信（ここで言う発言）していこうと思いました。
- 改めて語彙力（ごいりょく）をつけようと思いました。テストでは、社会も数学もどちらも「説明しなさい」という問題がダメで、言いたいことは分かるんだけど、シンプルにまとまらないというのが原因だと思いました。日頃から、「人に説明するときはシンプルに分かりやすく」というのを心がけていきたいです。
- 今日は5時間目の学級で、1年生との練習があった。今回やったのは応援と校歌の練習で、応援の練習ではA君が1年生に対して元気よく、1年生も緊張が解けるくらいの良い話し方をしていて、本当にすごいなあと思った。自分だったら1年生とまだ全然関わりが少ないから、元気よくや明るい感じではできないと思ったからだ。
- 今日の5、6時間目は梅とりがありました。B組の先輩方や後輩と楽しく梅とりができたのでよかったです！今日うれしかったのは、3年生の先輩たちが話しかけてきてくれて、みんなで名前を呼び合いながら作業できたことです。ああいう先輩に私もなりたいです！
- 初めて水泳の学習があった。小学生の頃はプール清掃があったけど、そういえばしていないと思い、「見えないところ」で誰かがやってくれたことに気が付いた。前に先生がおっしゃっていたことに繋がってる気がした。これからは「見えないところ」で誰かのためを思っている人、頑張っている人のことも考えてみようと思う。

これらを読むと、4月からの4カ月間、皆さんの日々の学校生活の中には、経験を次に活かしていこうとする確かな営み、があることをあらためて強く感じました。明日からの夏休みには、慌ただしくも感じる日々の学校生活から少し離れて、ものごとをゆっくり考える機会があります。そのような機会に、自分がこの4月からの生活をどのように過ごしてきたか、様々な行事や出来事を経て、今、自分はそれぞれの事柄をどのように捉えているか、自分自身で考えることはもちろん、ときには、周囲にいる大事な人たちと、ゆっくりと語り合う時間をもつことができるといいですね。

また、夏休み中何か困ったことや心配なことがあったら、一人で悩まず信頼のおける周りの大人や学校に遠慮なく相談をしてください。

最後に、4月からの4か月間、ときには猛暑もありましたがよく頑張りました。健康に気を付けて、事故のない良い夏休みとなりますように。少し長い期間、友達とも先生とも、そして教室ともお別れです。丁寧にさようならをして帰りましょう。繰り返しになりますが、くれぐれも交通事故には気を付けてください。また、心の健康、つまり自己について偽りのないまっすぐな生き方を心がけてください。なお、夏休み中に部活動等の各種大会やコンクール、北信越大会や全国大会などがある皆さん、暑い夏休み中の挑戦となります。大会まで体調を整え、気持ちを整え、晴れの舞台に臨んでください。応援しています。ぜひ練習の成果を十分に発揮してくださいね。それではまた、8月21日の月曜日に元気に会いましょう。